

# 在学生の声



**和田 瑞生**

農学科2年 花き園芸専攻  
(千葉県立安房拓心高校 出身)

私は農家の出身で、以前から農業を仕事にしたいと考えていました。そのため農業系の高校を卒業後、より実践的に学んでいくことができる本校の農学科に進学しました。

現在は花き園芸専攻教室で花の栽培について学びながら、切り花の日持ち性向上に向けた鮮度保持技術の新しい処理方法を模索しています。

卒業後は就農し、本校での経験をもとにして、花き産業の発展に繋げられるような経営を展開していきたいと考えています。



**大竹 菜ツ美**

研究科1年 施設野菜専攻  
(千葉県立成田西陵高校 出身)

私は非農家出身ですが、高校の食品科学科で六次産業を学ぶ実習を通して農業に興味を湧き、農業についてもっと学びたい気持ちから本校へ進学しました。

現在は施設野菜専攻教室に所属し、リーフレタスなど様々な野菜の育て方やハウスの管理などを学んでいます。また、本校で学ぶうちに農家さんの大変さを知り、農家さんを支えられる普及指導員になる目標を見つけました。

今後も知識や技術をさらに増やし、将来に役立てていきたいです。



**本田 和也**

研究科2年 果樹園芸専攻  
(都立忍岡高校 出身)

私の実家は農家ではなく、普通科高校の出身ですが、高校の時の部活動での梅の収穫や、プランターで野菜などを育てていたのがきっかけで農業をやってみようと思いい、入学後に専攻教室を選ぶことのできる本校へ入学しました。

現在は果樹園芸専攻教室に所属し、スマート農業機械による作業の省力化について取り組んでいます。

卒業後は学校で学んだ知識や経験を生かし、果樹園に就職か普及指導員になりたいと考えています。

## 入学者の推移 【農学科】

年度	計	男女別		高校別				農家・農家以外		地域別	
		男性	女性	農業高校	普通高校他	農家	農家以外	県内	県外		
R元	56	45	11	30	26	19	37	44	12		
R2	57	44	13	30	27	14	43	49	8		
R3	55	45	10	32	23	18	37	41	14		
R4	44	33	11	25	19	12	32	32	12		
R5	53	41	12	30	23	11	42	47	6		

名・(%)

## 入学者の推移 【研究科】

年度	計	男女別		農家・農家以外		地域別	
		男性	女性	農家	農家以外	県内	県外
R元	9	8	1	2	7	6	3
R2	16	15	1	5	11	11	5
R3	15	13	2	4	11	10	5
R4	17	13	4	5	12	15	2
R5	13	13	0	5	8	11	2

名・(%)

# 専攻教室の紹介

専攻教室は、本校での集大成である「卒業論文」を作成する場であり、生涯の恩師や友人と出会う場でもあります。また、専攻実習等の共同作業を通じてチームワークの大切さやありがたさも実感できます。本校には、全国の農業大学校の中で最も多い11の専攻教室があります。

## 作物専攻教室



作物専攻教室では、様々な農業機械を活用しながら、水稻、ムギ、ソバ等の穀物やサツマイモ、ジャガイモ等のイモ類、ダイズやラッカセイ等のマメ類を栽培しています。酷暑や厳寒期は大変ですが、専攻生全員で作業し、収穫の喜びを分かち合うことができます。

専攻生は、自分が興味を持った作物について、収量向上や品質改善、省力・低コスト化等農業現場でのニーズをとらえて課題を設定し、卒業論文の研究に取り組みます。

## 施設野菜専攻教室

施設野菜専攻教室では、イチゴ、トマト、パプリカ、キュウリ、メロン、スイカ等の果菜類を中心に栽培しています。土耕栽培を基本に、環境制御ハウスでの養液栽培、その他、高設・隔離床栽培等を行っています。

専攻生は、自分の責任で育苗から収穫まで日々栽培管理し、施設野菜の実践的な栽培と卒業論文の調査研究を通しながら、栽培技術を身に付けるとともに、収穫する喜びと食べる喜びも体験できます。

夏のハウス内作業環境は、暑く厳しいですが、努力の結果、収穫された農産物を手にすると、今までに経験したことのないような喜びを味わえます。

